



(都) 沼津南一色線の整備の必要性と 街路事業の現状について

〈資料目次〉

1. 路線の位置付け	1
2. 広域交通ネットワークの観点からの必要性	2
3. 地域交通対策としての必要性	3
4. 街路事業の現状	5

1.路線の位置付け

■(都)沼津南一色線は、以下の役割が期待される重要な路線で、幅員25m(4車線)の幹線道路です。

- 路線の位置付け：①国道246号(東京～沼津)と国道1号(東京～大阪)を結ぶ広域道路
②沼津市中心市街地と東名高速道路(沼津IC)・新東名高速道路(長泉沼津IC)を結ぶアクセス道路
③長泉町や裾野市など近隣市町との都市間交通を担う道路



2.広域交通ネットワークの観点からの必要性

■ (都)沼津南一色線(整備中区間)の未整備により、交通ネットワーク機能が不十分であることから、交通が集中する江原公園交差点、共栄町交差点を中心に国道1号、(都)三枚橋岡宮線等において、走行速度が低下し、慢性的な渋滞が発生しています。



3.地域交通対策としての必要性

- 国道1号などの幹線道路の渋滞により抜け道となっている(県)三島富士線などに通過交通が流入し、朝夕の慢性的な渋滞で地域住民の日常生活に支障をきたしています。また、交通の集中や錯綜により人身事故が多発しています。



① 国道1号江原公園交差点付近



② (県)三島富士線から国道1号への合流部



③ 抜け道となっている(県)三島富士線



4. 街路事業の現状



○街路事業の進捗状況

●事業の経緯

- ・ 昭和36年度に都市計画決定（県決定）されています。
- ・ 平成8年度に事業認可され、街路事業に着手。
- ・ 平成17年度工事に着手し、東海道新幹線を横断する区間の工事が概ね完了しています。
- ・ 平成27年3月時点における事業の進捗状況は、用地買収99.7%、物件補償96.2%、工事42.8%です。
- ・ 現時点での完成予定は、隣接する岡宮北土地区画整理事業で整備する街路とあわせ平成33年度です。

●事業費について

全体事業費は約76億円で、事業着手から現在までの約19年間で約60億円投入しております。

●関連市道の整備について

沼津南一色線の整備にあわせて、街路と接続する市道整備を進めており、既に用地買収が完了しております。



(移転補償の現状)

■ 神社の移転

(都)沼津南一色線の事業予定地には、「熊野神社」と「高尾山穂見^{ほみ}神社」が鎮座していましたが、東側隣接地への移転が完了しています。

■ 一般家屋の移転

当該区間では用地買収、移転補償が進んでおり、古墳南北の沿道には新築された住宅や業務施設等が建ち並んでいます。

